

NO. 29

最近、感動した言葉は「知らない」でした。なぜなら、日本に来て、日本人と同じようになりたいので、毎日努力して、日本語だけではなく、日本の文化や挨拶のしかたなども勉強しました。しかし、母国と日本の文化が違うので「あなたの言葉を知らない。」とか、「そんなことを知らないの？」と何回も言われてがっかりしました。あっという間に時が過ぎ、日本に来てもう2年が経ちました。日本の生活に慣れると共に日本語や日本の文化なども分かってきました。先日、働く施設の利用者の皆さんに「知らない」とまた言われましたが、「あなたの言葉を知らない」ではなく、「あなたが外国人だと知らなかった」と言われて、泣くほど感動しました。

NO. 31

「これから、がんばろう」

今日、私は 80 年くらい動いていた認知症があった古い時計について書きます。この時計は私の家族のうれしいこと、かなしいこと、全てのことを知っているやさしい時計です。でも時計は 60 歳くらいになったら、音がとてもうるさくなりました。それでみんなこの時計はめんどくさいなと考えました。家族の一番大事なものなのですが、時計をかけてある部屋に入ることさえしませんでした。音がうるさくても、よく動いていたこの時計を誰も相手にしていませんでしたから、時計の調子がだんだん悪くなりました。それから 20 年ぐらいたちました。

ある日、時計の音が出なかったから家族みんなで部屋に入りました。音が出なくても時計は動いていました。お母さんは時計と一緒に過ごした昔、昔、全てのこと、思い出しました。私は古い時計とさっき言ったけど、この時計位きれいで高級な世界中探してもないとお母さんから言われました。お母さんは泣きながら、時計を修理してと家族に頼みました。そしてお母さんも時計を直すために一生懸命がんばりました。でも、修理することは出来ませんでした。時計はお兄さんの手の上で動かなくなってしまいました。信じられませんでした。この古くて、うるさい時計がなくなってみんな泣きました。

80 年休まずにチクタク、チクタク、おばあさんと一緒にチクタク、チクタク。

それで、これからどうしたらいいのか分からなくなって、家族みんな病気になりました。私のベストフレンドは私の方に来てくれま

した。「これから、がんばろう」と言われました。おばあさんのために何かやりましようと言われました。

ベストフレンドと一緒に認知症のひとのために病院を作るという夢をたてました。それで家族みんなの気持ちが悪くなりました。ベストフレンドの言葉に、家族みんな助かりましたよ。

NO. 75

私は今大学四年生です。来春には卒業し、介護施設にて利用者様の生活をお手伝いする職員の一員になります。

さて、今回の作文テーマが「感動した言葉」ということなので、最初に述べてしまいます。

私が成人した日に母が言った「貴方は私の誇り」という言葉を支えにここまで頑張ってきました。

私は高校一年生の冬に父を亡くしました。その日は丁度バレンタインで、葬儀の際、渡すはずだったチョコレートを一緒に火葬してもらったことを覚えています。以降、母と二人三脚で助け合いながら生きてきて、二年前になんとか成人できました。その日父の墓を訪ね、母と亡き父に感謝を伝えた際に母が言ってくれた言葉が、先述したものです。

私は自分に自信があるわけではありませんが、その言葉がある限り、この先どんなに辛いことがあっても耐えていけると思うのです。

NO. 79

「友達だよ。」私はその言葉に感動しました。

小さい頃から友達が少なくていつも一人で遊んでいました。当時の私は、泣き虫でけんかになりそうな言葉ばかり言っていました。小学校から中学校までいじめられていたこともあり、いつしか人を信じる事が出来なくなってしまい、友達もほとんどいませんでした。高校でもいじめられるのではないかと、また友達が出来ないのではないかと思ったりもしました。高校に入って信じて大丈夫と思える友達が出来、本当に嬉しかったです。初めて友達と遊びに出掛けた、初めて友達に本音が言えた、初めて心の底から思い切り笑えた。久しぶりに「友達だよ。」が聞けました。

こんなに楽しい高校生活になるなんて思ってもいなかったです。

「友達だよ。」がこんなに嬉しい言葉なのだを知り、友達を大事にしたいと思いました。これからも、もっと友達を大事にしていきたいです。

NO. 100

私は敬老の日に祖母へ手紙を書いた。私の祖母は今では祖父を亡くし、一人暮らしである。

手紙を渡した次の日、どういうわけか返答の手紙を受け取った。読んでみると、文字列の先頭の文字をつなぐと言葉が表れるタイプ。縦に読んでみると、だいすきなつな、なのだった。

涙が溢れ幸せに満ちた朝だ。こちらこそ大好きに決まっている。照れくさいので省略するが、誰からも愛させることは素敵だけれど気持ちもそれぞれ違うので明るく楽しく生きてね、幸せを祈っているよ、というような手紙だ。感動した。人生の大先輩からの魂のこもった手紙には優しいぬくもりを感じる。と同時に励まされたのだった。

これからも苦しい事や辛い事があるかもしれないけれど、もがきあがき頑張っていこう、そう思えた。

おばあちゃんに心の底からのありがとうを込めて。

常識ってなんだろう

常識とは、18歳までに身に付けた偏見のコレクションである。

アルバイト・アインシュタイン

この言葉を、初めて知ったのはテレビのクイズ番組を見ていた時、問題として出題されていた時でした。私はこの言葉を閉じて、「あ、確かにそうだな。」と思いました。

常識とは、とてもあいまいな物で一人ひとりが持っているけれど、まったく同じ常識を持っている人はいないのです。数学の問題のように答えは一つということがないので、自分にとっての常識は他人にとって非常識となることが沢山あります。

私が中学生三年生の時、高校選びで、自分の体調をみて通信制高校に進もうと決めていた時、当時の担任の先生が、私の事を思って助言しているのだと分かっているけど、「通信制じゃなくて、全日制の高校にしたら。」と何度もあり、先生にとっては常識なのかもしれないけど、私にとっては常識を押し付けられているようで言われるたびに苦痛でした。

常識ってなんだろうとっていて、そのテレビを見た時に腑に落ちました。アインシュタインは、この事に気付き言葉を残していたことにとても感銘を受けました。